

NEWS LETTER Vol.01

出会い ふれあい 支えあい 共に生きるまち
第4期地域福祉計画 第1回策定委員会を開催しました！

地域福祉計画とは

地域福祉計画は、市民が抱える様々な生活課題を福祉サービスや地域の支え合い活動によって解決していくための計画です。北名古屋市では、令和3年度（2021年度）からの「北名古屋市第4期地域福祉計画」を策定する準備を進めており、この「かわら版」で皆様にその情報をお知らせしてまいります。

第1回策定委員会

2月4日に、市役所において、第1回策定委員会を開催しました。策定委員会は、小木曾早苗日本福祉大学 福祉社会開発研究所助教を委員長に委員15名で構成され、全4回開催する予定です。第1回会議では、策定方針と、市民アンケート調査の実施方法について協議しました。

地域福祉活動計画と一体的に策定します

「北名古屋市第4期地域福祉計画」は、北名古屋市社会福祉協議会が地域福祉に関する施策・事業をどのように推進するかを定める「地域福祉活動計画」と一体的に策定します。

市民の皆様とワークショップを行い、市民の皆様のご意見を取り入れた計画づくりを進めますのでご協力をお願いします。

第1回策定委員会



北名古屋市第4期地域福祉計画策定委員会 委員名簿

機関・団体・事業所名	職 名	氏 名	備 考
日本福祉大学 福祉社会開発研究所	助教	小木曾 早苗	委員長
北名古屋市民生委員児童委員協議会	会長	井上 忍	副委員長
豊かな学び創造推進協議会	委員	岡島 啓子	
徳重自治会	会長	加藤 修一郎	
北名古屋子ども会連絡協議会	会長	佐瀬 智彦	
鹿田防災サポーター	会長	十良 裕樹	
北名古屋市商工会青年部	部長	鈴木 竜規	
北名古屋市中心身障害者福祉協会	会長	高桑 金平	
社会福祉法人 西春日井福祉会	所長	玉井 一男	
相談支援センター 尾張中部福祉の杜			
NPO法人 次世代健全育成サポート あひるっこ	代表理事	中田 るり子	
北名古屋市健康づくり推進員OB会	会長	永津 優子	
株式会社総合福祉サービス J・You じゃがいも	代表	早川 京子	
北名古屋市老人クラブ連合会	会長	村瀬 義雄	
清須保健所	健康支援課長	山村 浩二	
北名古屋市ボランティア連絡協議会	副会長	吉田 彩子	

地域共生社会実現にむけて

厚生労働省では、昨年、「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」(地域共生社会推進検討会)を開催し、12月に「最終とりまとめ」を行いました。

ここでは、今後、市町村において、包括的な住民支援体制の整備のために次に掲げる3つの支援を一体的に行っていくべきという考え方が示されました。

①断らない相談支援

本人・世帯の属性にかかわらず受け止める相談支援

②参加支援

本人・世帯の状態に合わせ、地域資源を活用しながら、就労支援、居住支援などを提供することで社会とのつながりを回復する支援

③地域づくりに向けた支援

地域社会からの孤立を防ぐとともに、地域における多世代の交流や多様な活躍の機会と役割を生み出す支援



★★★策定委員の意見から★★★

- 私は第2期計画から、策定に関わっています。「地域福祉計画」というと固いイメージがありますが、これまでも、福祉に関わる者として、結構、私たちの意見を盛り込んでいただけていると感じています。改めて計画書を開くようなことはないものの、肌感覚的には、いろいろなことが改善してきていると感じています。
- ショッピングセンターの一角などで、地域の方が買い物の帰りに困り事相談に来たり、介護保険制度や障害者の制度などを伝えていくといった「コミュニティ広場」があるといいと思っています。学校区に一つずつ、地域の方々と協働して作っていけないかと模索しています。
- 私たちのグループは、「自分の健康は自分で守る」ということをモットーに活動しており、いろいろなところで活躍している人も多いです。ただ、メンバーが高齢化し、次世代がいない状況です。北名古屋市は、高齢者の健康づくりは結構充実していると思います。自分たちの健康に何かあって、助けてもらわなくてはならないという場合に、この地域福祉計画が重要だと思うので、勉強したいと思います。
- 地域に住む人が災害時にどのように動いたらいいか。時間帯により地域にいる年齢層が変わってくるので、支援できる内容、互助できる内容がすごく変わってきます。そういうことを計画ごととして考えていくのは苦しいと感じてしまう。結局、どういうサービスがあるかわからない、助けてほしいがどうしたらいいかわからないといったことが、災害時には特にあります。これは子どもの育成支援でも同様で、わかりやすく提示しておくことが大事だと思います。
- 私は民生委員児童委員協議会の役員をしています。災害時に民生委員児童委員がどう動くかということに強い関心を持っています。一応マニュアル的なものもあるのですが、それをどう行動に結びつけていくか、少しでも道を拓きたいと思っています。

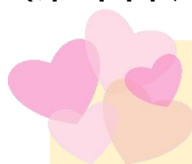


ふれあい会

ボランティアグループ「麦の会」が平成4年からスタートした「ふれあい会」は、おひとり暮らしの高齢者の方をお招きして手作りの昼食やレクリエーション、講座などを行っています。笑顔いっぱい・おしゃべりがいっぱい・おなかもいっぱいの素敵な会です。

どこでも高齢化が言われているが、私はそれを逆手にとって人生100年と言っている。私たちの仲間も70、80代が圧倒的に多いが、やる気はすごい。ボランティアと小さいお子さん、お年寄りが集まる場ができると、いろいろな情報交換ができるし、“つなぐ”ということができる。つなぐ場所があるということはとても大きなこと。

(第1回策定委員会 吉田彩子委員の発言より)



出合い・ふれあい・支え合い きたなごや ～ つながる日常の風景 ～

日々の教育活動を通して、「みんな共に生きている、支えあって生きている、地域にはいろいろな方がいて苦労されたり、工夫されたりしている」ことを教えていきたい。

周りに支えられていることに感謝の気持ちをもたせるとともに自分たちも何か地域でやれることはあることに気付かせていきたい。

(第1回策定委員会 岡島啓子委員の発言より)

師勝東小学校 夜間防災訓練 (令和元年12月21日)

東小お父さんの会主催、六ツ師自主防災会の協力で、夜間防災訓練を開催。防災倉庫の備蓄品を確認したり、防災講義で簡易ごみ箱を作ったりと、親子で防災について学びました。

